

第1回ワークショップの振り返り

1. 窓口について

- ・関係する係が集約されている窓口
- ・町民に対応できるカウンターの長さ
- ・オープンなので職員に色々問い合わせやすい
- ・町内の情報が集まっていること
- ・利用できる時間が町民の生活時間と合っている
- ・ワンストップ化（移動せず一箇所で手続きが済むこと）
- ・書類に記入する際、見られるのが苦手な方がいると聞いた
- ・カウンター（窓口）が利用者目線となっている
- ・総合窓口がない
- ・職員のプロ意識を望みたい
- ・公営住宅の窓口が遠い
- ・観光客にもやさしい対応窓口
- ・17:30まで業務を行っているので利用しやすい

2. 執務室について

- ・職員の顔が見える配置
- ・町長室は町民の目線の所に
- ・町民の皆がわかりやすい※誰が来庁しても
- ・各部署の囲まれた空間構成は不可※見通しの良い空間を
- ・職員の福利厚生（休憩スペース等）が少ない
- ・開放的でいい
- ・現在はたばこが吸える
- ・1つの課が分断されているのを解消する

3. 建物の構造について

- ・コンクリートづくりより、木のぬくもりを
- ・木質を使用した建物
- ・外観の建物の意匠が淋しい
- ・町の特徴となる建物の意匠 ※外観は特に重要
- ・自然を感じられる庁舎、無機的ではなく
- ・内装に木の使用を考える
- ・寒い庁舎みたいだ

4. 会議室・相談室などについて

- ・ロビーが狭い
- ・相談する場所が不足している（個室）※2件
- ・各課のスペースが狭い
- ・庁舎にはスペース（空き）がない ※職員、町民にとって
- ・ファサードスペースの欠如⇒子ども達の空間がない ※ファサード：建物の正面
- ・会議室が足りない
- ・庁舎面積は十分ある
- ・1階職員の作業スペースが狭いと思う

5. バリアフリーについて

- ・車いす用のトイレ
- ・プレハブ庁舎階段が急（きつい）※2件
- ・バリアフリー対策が不十分
- ・高齢者が利用しやすいこと ※2件

6. 建設予定地について

- ・立地的に町の中心部に有り便利
- ・すべてが集中した施設が良いのか。機能が集中していれば分散してもいいのではないか。

7. コミュニティ機能について

- ・子供から、老人まで集える所
- ・顔見知りが増えるコミュニティー
- ・トレーニング施設×2件
- ・カフェ的なスペースがあると良い
- ・地域サロンとしての場
- ・障がい者雇用となる施設
- ・仲間の連携
- ・子育てサポート
- ・町民と職員が交流できる場所
- ・子供たちが集まり、小清水このことがわかる所
- ・将来の子ども達が来やすい庁舎 ※庁舎から定住に繋げる
- ・役場庁舎だけの運営ではなく、各庁舎との連携、ネット情報の配信
- ・新しいこれからの小清水町になくってはならない複合施設、これからの小清水を造る
- ・人口減少から起こる市町村合併の場合でも生き残れる、人々が集える空間
- ・町民が集まるフリースペースの計画（飲食ができるような）
- ・小清水の財産としての景観を観光に、観光業の目玉としての付帯施設
- ・都会へ行った若い人にいいね小清水と思ってもらえる庁舎
- ・全町民の誇りになる施設があり、観光客も一度は訪れたいコミュニティー
- ・役場がイニシアチブをとって民間とのイベントを ※年2回程
- ・全道一のコミュニティーカフェ
- ・町民同士での憩えるスペースが無い
- ・学習塾、Wi-Fiの整備
- ・老人が集まることができるコミュニティー
- ・定期的な催しが開催されている
- ・熱しやすく冷めやすい
- ・愛の声掛け運動は？
- ・犯罪が少ない
- ・気軽に休め、くつろげるスペース ※2件
- ・老人が集まれる空間が欲しい（サロンなど）

8. 防災拠点、安全性について

- ・安全性（庁舎前の車道が危ない）
- ・災害に対応できる庁舎
- ・町民に対する情報発信の力不足
- ・現庁舎は耐震性が無いので建設を急ぐこと
- ・災害時の避難場所としての個人の広さとプライバシーの確保
- ・駐車場と役場の間にある道路が危険
- ・災害時の電気供給（充電ステーション）
- ・FM網走に次いで中学生のFM小清水開局